

(様式1)

# 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	2176
部 名	企画部	課 名	広聴広報課		課長名	白井誠一
事務事業名	わたしの提案(市長への手紙)等事業					
予算上の事務事業名	わたしの提案(市長への手紙)経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	17110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます					
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				事業開始年度	
施 策 名	第1施策 個性豊かな地域づくり				昭和63年以前	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市広報広聴規則、わたしの提案等に係る電子メール取扱い要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	窓口・相談 ▼					
5 事業概要	(1)事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2)対象(誰、何)					
心のかよいあう明るく住みよいまちづくりを推進するため、市民の意見や提案等をいただき、市政に反映させる制度として実施している。				市政に対して、意見や提案がある人		
(3)平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
(1)わたしの提案(市長への手紙)・・・577人 875件 (ア 手紙 654件) (イ 電子メール 221件) (ウ ファクシミリ 0件) (2)陳情、要望・・・・・・・・・・99団体 923件 (3)市民電子会議室「市民のひろば」・162件						
6 関連・類似事業や他市の状況	他自治体においても同様の事業が実施されている。					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	344	56	146	264	264	
一般財源	344	56	146	264	264	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	15,102	14,418	14,526	14,526	14,526	
事業コスト合計(a)	15,446	14,474	14,672	14,790	14,790	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名					
	わたしの提案(市長への手紙)等事業			対象名称(単位)	提案件数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	15,446	14,474	14,672	14,790	14,790	
対象数	1,657	1,142	1,960	1,960	1,960	
単位あたり経費(円)	9,322	12,674	7,486	7,546	7,546	
前年度比		1.36	0.59	1.01	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	提案の受付件数（件）	指標式と指標の説明		提案件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1,657.0	1,142.0	1,960.0		
目標	1,825.0	1,825.0	1,825.0	1,825.0	1,825.0
目標達成度	0.91	0.63	1.07		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	提案等に対する実施済率（％）	指標式と指標の説明		提案等を現在及び近く実施する件数 / 提案等件数 * 100 提案等について実施を行うことができる案件の割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	16.2	26.3	19.1		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	16.2	26.3	19.1		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		市民が市政に対して意見や提案等を伝える手段として、最も身近で確実であると考えられ、市民と行政とのパートナーシップの確立のために、市民の声が市政的に反映される広聴制度の一層の充実が求められる。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
平成11年度から電子メールでの受付、14年度から市民電子会議室を開設したことにより、従来提案等が少なかった20歳代や主婦からの提案等が増加し、各年齢層の提案等を反映させる手段として機能していると思われるが、さらに広聴手段の充実を図ることにより、成果向上の余地があると思われる。			さらなる広聴制度の検討が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			